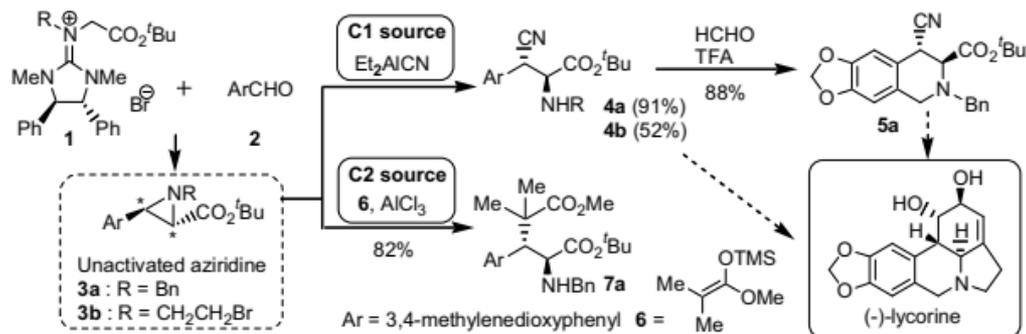


# 28P-pm390

Aziridine の炭素求核剤による開環反応を機軸とした Lycorine の合成研究  
○林 由希子<sup>1</sup>, 熊本 卓哉<sup>1</sup>, 石川 勉<sup>1</sup>(<sup>1</sup>千葉大院薬)

【目的】我々は、guanidinium 塩 **1** と芳香族 aldehyde **2** からの不活性型（窒素上に電子供与性基を持つ）aziridine **3** の形成反応<sup>1)</sup>を開発し、この **3** の有機合成への応用を目的として、昨年度は Et<sub>2</sub>AlCN を炭素求核試薬とした環開裂反応を報告した。<sup>2)</sup>そこで本反応を用いた天然物 lycorine の不斉合成を目指し、更なる aziridine の反応性について検討した。

【結果・考察】前年会<sup>2)</sup>にて **4a** の合成を報告しており、このものの Pictet-Spengler 反応は収率良く **5a** を与えた。N 上に修飾可能な置換基を持つ **3b** の開環反応も同様に進行した。現在 lycorine 合成に向け、**4b** の反応性を検討している。一方、AlCl<sub>3</sub> を用いた **6** による環開裂に成功し、C2 単位の導入も可能とした。



1) Hada, K. *et al.* *J. Am. Chem. Soc.* **2001**, *123*, 7705. 2) 日本薬学会 129 年会 28P-am161.